



「職業」に関する人の意識・行動

2020年10月

➤ 本調査内容に関する問合せ先
電通総研：山崎、千葉、吉田
E-mail d-ii@dentsu.co.jp

クオリティ
オブ
ソサエティ

電通
総研

調査の視点

電通総研は「クオリティ・オブ・ソサエティ」の活動基盤として、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えるために、定量調査「電通総研コンパス」をアドホックに実施しています。本調査は第4回目の調査となります。

近年の日本社会は、経済成長が鈍化し、国際競争力も低下傾向にあるなかで、産業構造の転換やイノベーションが十分進展していたとはいえません。就職、転職、転業などについての人びとの価値観にも従来型の影響が根強く残っているように思われます。

こうしたなかで、突然のコロナ危機により、多くの事業や職業の持続性が問われるとともに、リモートワークや個人請負による配達サービスなどの新しい働き方や新しい職種が生まれてきつつあります。また、新政権が主導する社会全般のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の加速によって、職業のあり方が急速に変わることが予想されます。

こうした環境変化を背景に、人びとの意識や価値観はどのように変化しているのでしょうか。

電通総研は、日本における職業の地殻変動に注目し、人びとの意識や価値観の変化を把握しながら、今後の社会のあり方を探るために、「職業」に関する意識と行動について調査を試みました。

設問項目

- 問1 新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけにして、社会のことを考える機会に変化はありましたか (SA)
- 問2 今後、日本社会における職業のあり方について、どの程度の変化が起きると思いますか (SA)
- 問3 現在あなたがついている職業は、今後デジタル化や技術の進歩などの影響をどの程度受けると思いますか (SA)
- 問4 現在あなたがついている職業は、10年後どうなっていると思いますか (SA)
- 問5 あなたは、現在の職業にどの程度満足していますか (SA)
- 問6 あなたは、これまでに職業を変えたことがありますか (SA)
- 問7 あなたは、現在ついている職業・仕事を変えたいと考えたことはありますか (SA)
- 問8 あなたは、10年以内に職業を変える可能性はあると思いますか (SA)
- 問9 あなたが「より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発」として取り組んでいるものについて (MA)
- 問10 現在のあなたの職業 (SA)

※SA：単数回答、MA：複数回答

調査結果のサマリー

今回の第4回調査では職業に関する人の意識や行動に着目しました。

調査結果からは、変化の予兆を敏感に感じ、変化に向けて前向きに行動しようとする人びとの姿が浮かび上がりました。

■「職業」にかかわる変化の予兆

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、社会のことを考える機会が「増えた」人が過半数を占めています。

そんななか、81.1%の人が日本社会において職業のあり方に「変化が生じる」のではないかと感じています。

自分がついている職業について、過半数の人が現在の職業に「満足している（57.2%）」一方で、

「デジタル化や技術の進歩などの影響を受ける（60.9%）」と、変化の予兆を敏感に感じており、

10年後は職業自体は存在するが「変化する（58.7%）」と考える人が多数を占めました。

■「転職」という選択肢も見据えて

これまでに職業を変えたことがある人は51.4%でした。今後については、同じ組織内での職業変更も含めて

「違う職業・仕事につくこと（42.9%）」を考えている、「考えていない／わからない（36.5%）」、「今の職業・仕事を極めたい（20.6%）」と、

人それぞれの考えが浮かび上がりました。10年以内に職業を変える可能性について、「ある（38.4%）」と回答した人がもっとも多かったものの、

「どちらともいえない（32.7%）」、「ない（28.9%）」と回答した人も少なくなく、ほぼ三分した形となりました。

労働市場が流動化し、人びとを支える社会のしくみが整備されれば、今後、職業を変える人も増えるかもしれません。

■変化に向けて、「専門知識やノウハウ・スキルを学ぶ」ことに関心

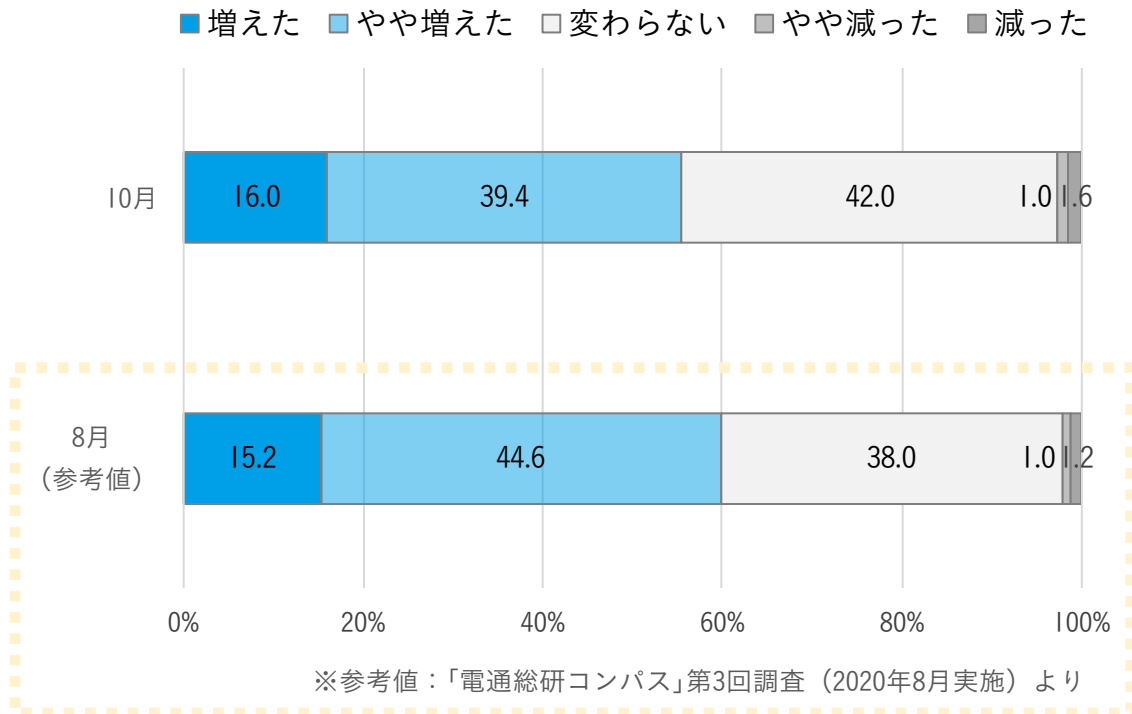
職業をとりまく社会環境の大きな変化が予測されるなか、「より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発」に取り組んでいる人もいました。さまざまな取り組みのなかでも、「専門知識やノウハウ・スキルを学ぶ（30.9%）」ことに取り組んでいる人がもっとも多いという結果が得られました。変化を敏感に感じ、変化に向けて前向きに行動しようとする人びとによって、日本社会が活性化されることが期待されます。

電通総研は、これからも、人びとの意識・行動の変化に着目し、より良い社会のための兆しを見つけるべく、「クオリティ・オブ・ソサエティ」の活動を推進してまいります。

■新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、 社会のことを考える機会は「増えた」55.4%

※「増えた」「やや増えた」と回答した人の合計

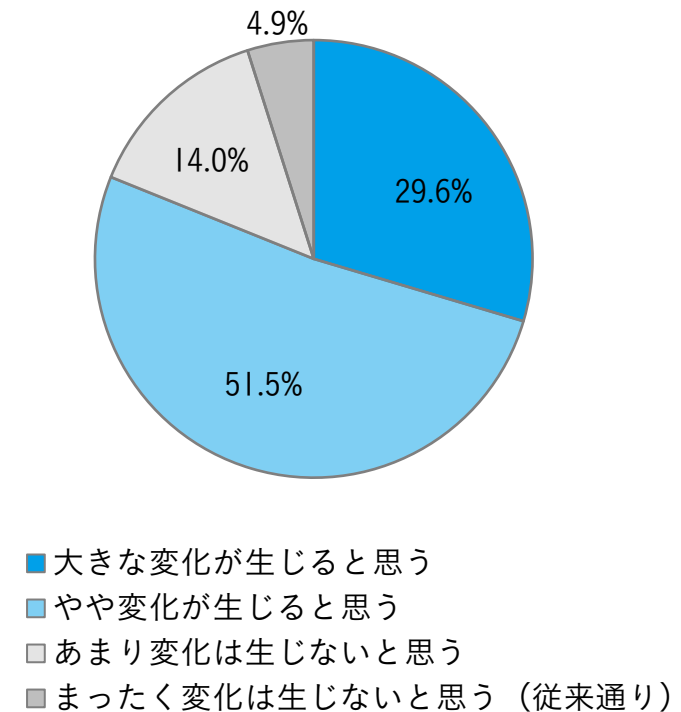
問1 新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけにして、社会のことを考える機会に変化はありましたか。



■日本社会における職業のあり方について 「変化が生じる」81.1%

※「大きな変化が生じる」「やや変化が生じる」と回答した人の合計

問2 今後、日本社会における職業のあり方について、どの程度の変化が起きると思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

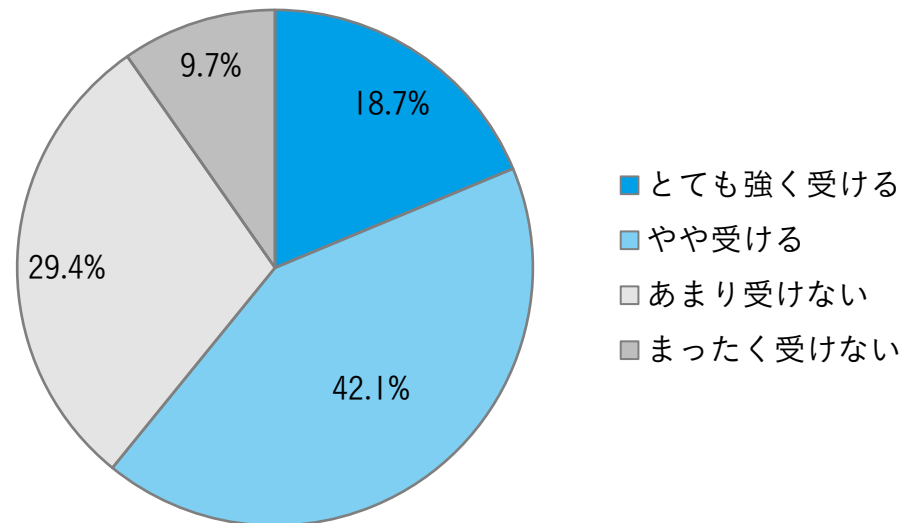


■今後、自分がついている職業は

「デジタル化や技術の進歩などの影響を受ける」60.9%

※「とても強く受ける」「やや受ける」と回答した人の合計。合計数値は、回答者の実数をベースに算出しているため、四捨五入の関係で、まとめる前の数値の合計と一致しない場合があります。

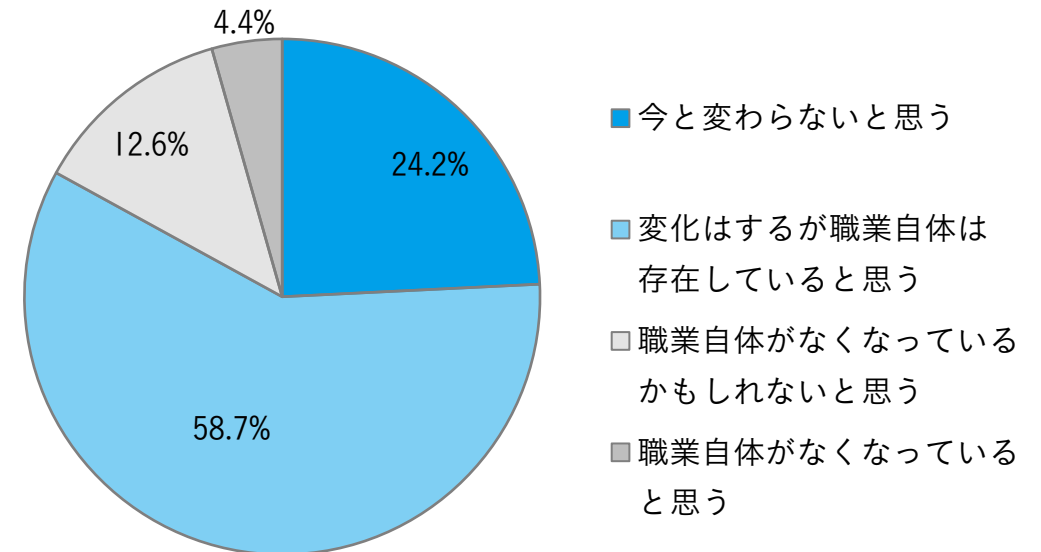
問3 現在あなたがついている職業は、今後デジタル化や技術の進歩などの影響をどの程度受けるとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。
*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



■日本社会における職業のあり方について

「変化するが職業自体は存在している」58.7%

問4 現在あなたがついている職業は、10年後どうなっていると思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。
*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



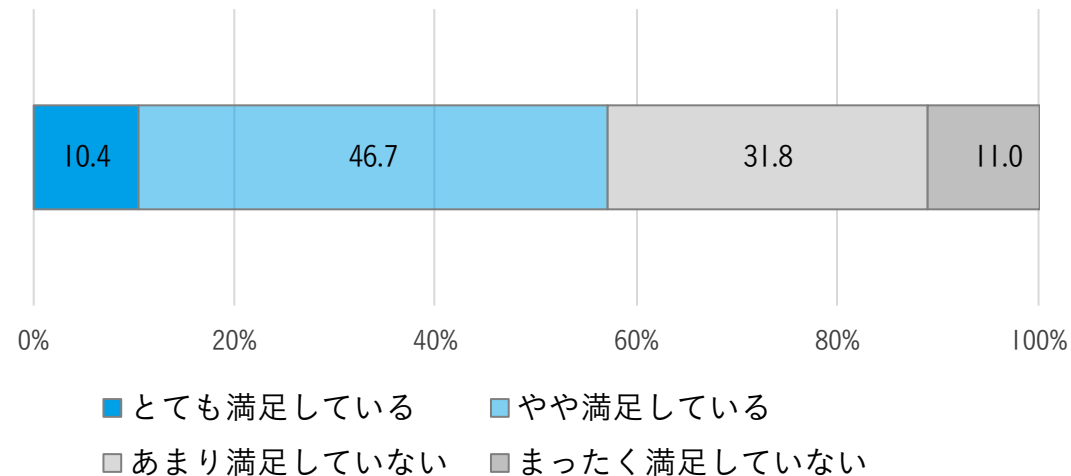
■現在の職業

「満足」57.2%

※「とても満足」「やや満足」と回答した人の合計。合計数値は、回答者の実数をベースに算出しているため、四捨五入の関係で、まとめる前の数値の合計と一致しない場合があります。

問5 あなたは、現在の職業にどの程度満足していますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



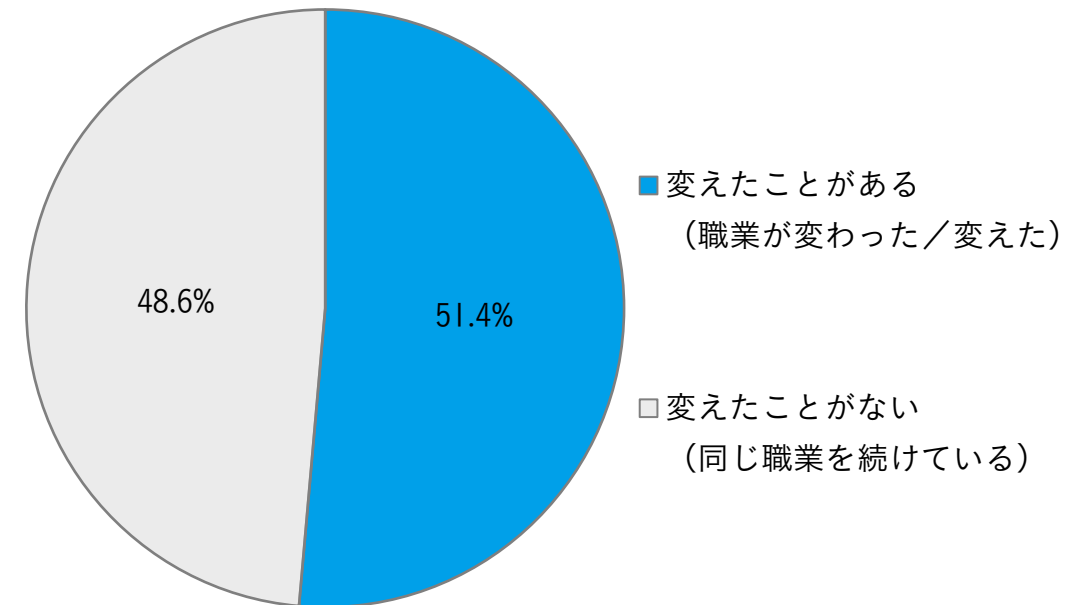
■職業を変えたことが

「ある」51.4%

問6 あなたは、これまでに職業を変えたことがありますか。

*例えば、同じ会社内でも「営業から生産部門」とか「語学の資格を取って海外部署へ異動」などは「変えたことがある」とお考えください。また、「美容師として3つの店を経験した」という場合は「変えたことがない」とお考えください。

*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



■今の職業・仕事について

「違う職業・仕事につくこと」を考えている 42.9%※

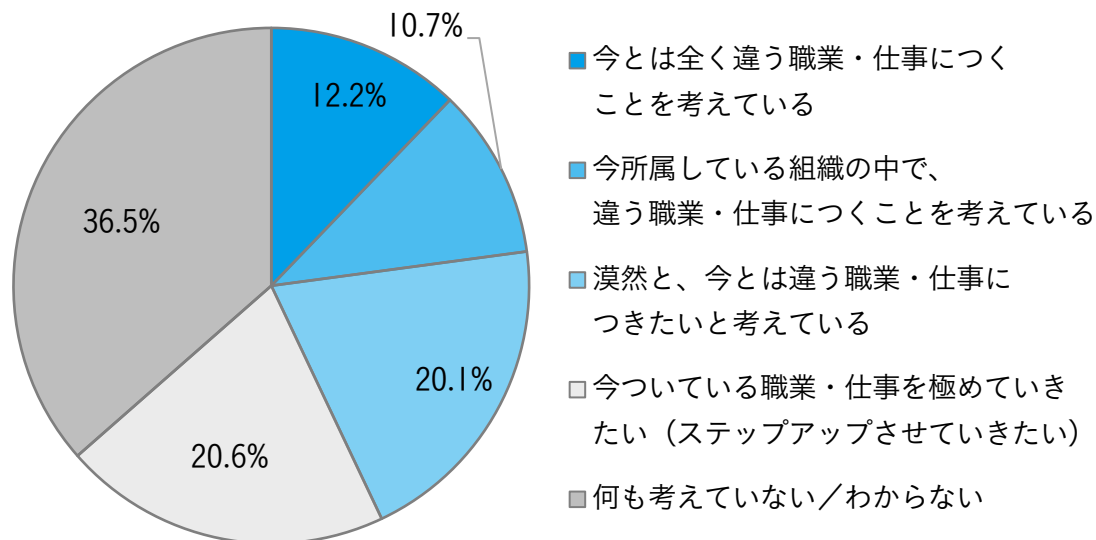
「考えていない／わからない」36.5%

「今の職業・仕事を極めたい」20.6%

※「今とは全く違う職業・仕事」「今所属している組織の中で違う職業・仕事」「漠然と、今とは違う職業・仕事」と回答した人の合計。合計数値は、回答者の実数をベースに算出しているため、四捨五入の関係で、まとめる前の数値の合計と一致しない場合があります。

問7 あなたは、現在ついている職業・仕事を変えたいと考えたことはありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



■10年以内に職業を変える可能性は

「ある」38.4%※1

「どちらともいえない」32.7%

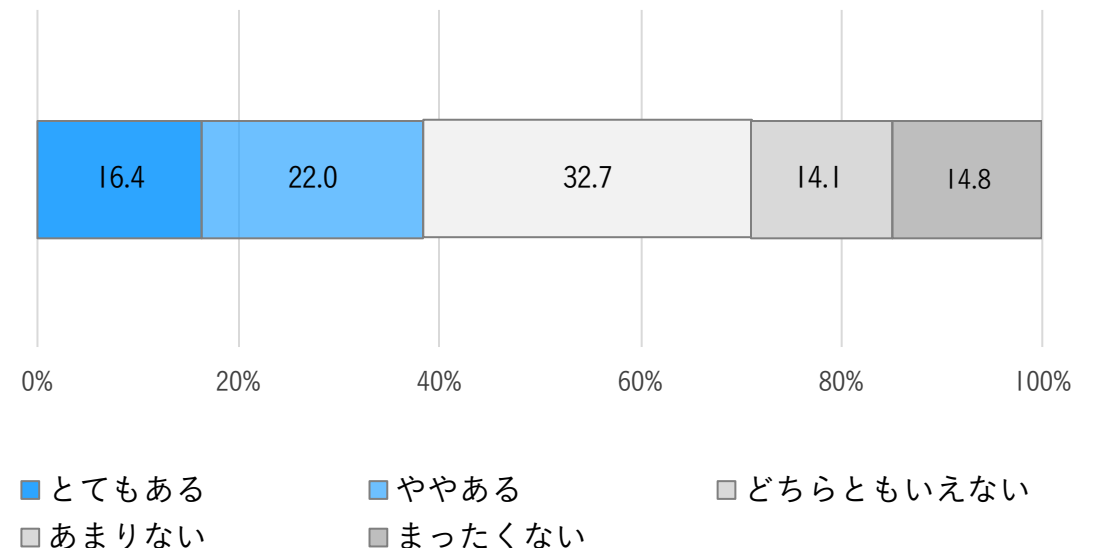
「ない」28.9%※2

※1「とてもある」「ややある」と回答した人の合計

※2「あまりない」「まったくない」と回答した人の合計

問8 あなたは、10年以内に職業を変える可能性はあると思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。

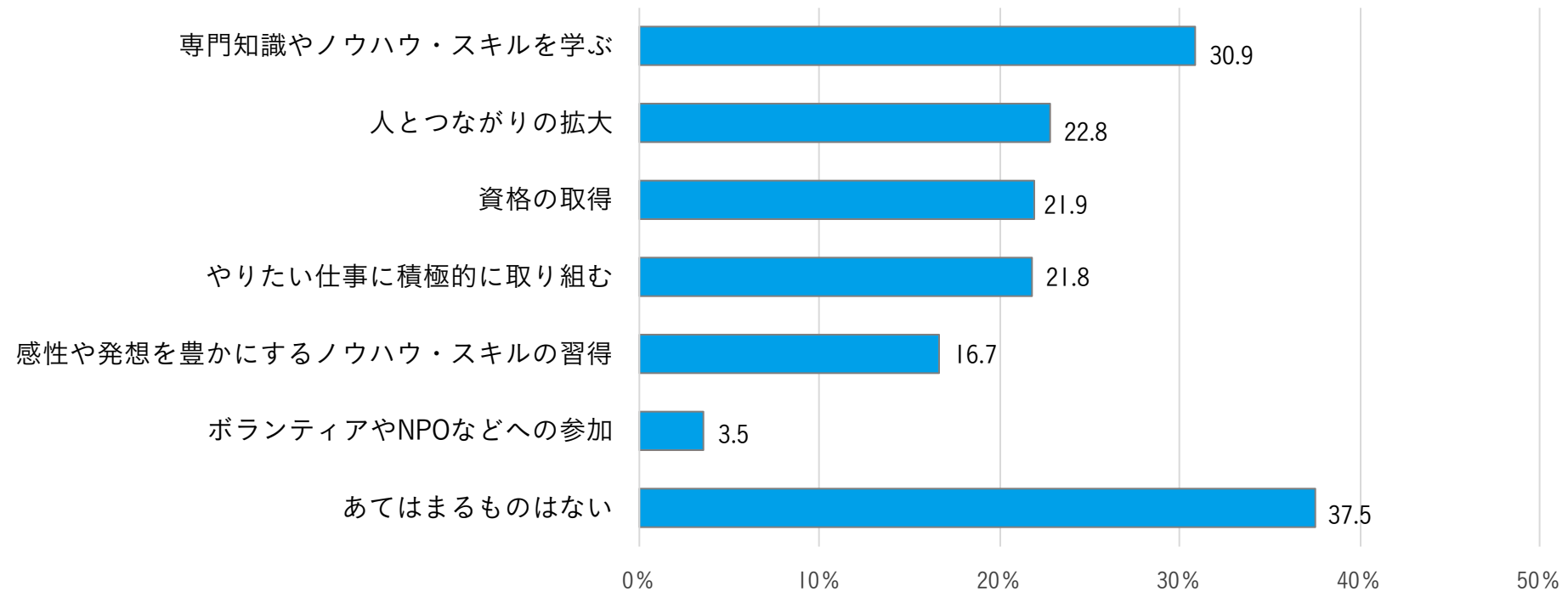
*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。



■ 「より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発」として取り組んでいるもの

「専門知識やノウハウ・スキルを学ぶ」30.9%

問9 以下の中から、あなたが「より良い仕事や収入を得ることを目的とした能力開発」として取り組んでいるものについて、あてはまるものをすべてお知らせください。

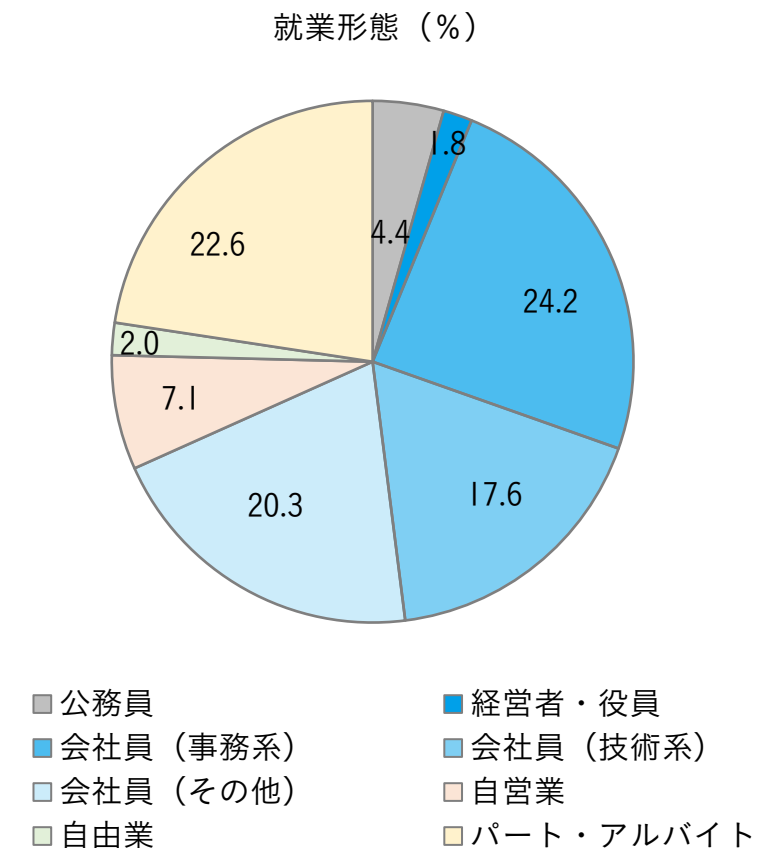


※「あてはまるものはない」以外は複数回答

■回答者の職業

問10 現在のあなたの職業に最もあてはまるものはどれですか。*複数の職業をお持ちの場合、あなたがもっとも大切にしている職業についてお答えください。

	%
専門知識や資格を要する仕事（医師、薬剤師、弁護士、公認会計士など）	10.7
一般事務、経理、総務など	21.7
販売・営業などお客様と接する仕事（販売店やコールセンターなど接客業）	16.5
長い期間の修行で身に着けたスキルを活かした仕事（職人、料理人、理・美容業など）	3.8
公務員・保安職（公務員のほか、自衛官、警察官、消防士など）	2.9
製造・加工処理（自動車、食品・飲料、衣服、金属・化学などの製造・生産など）	7.1
生産・機械整備（製造機械の製造・管理など）	3.1
建設・採掘（電気工事、大工など職人、採掘従業者など）	2.1
交通・輸送・運輸の技術職（パイロット、運転手、保線など）	2.0
運搬・清掃・包装など	2.6
農林漁業	0.9
管理職（チームや売上などの管理するマネージャーなど）	3.1
企画を生み出す仕事（アイデアを出したり、動かしたり）	1.6
IT関係のシステム構築などの仕事	4.5
その他	17.4

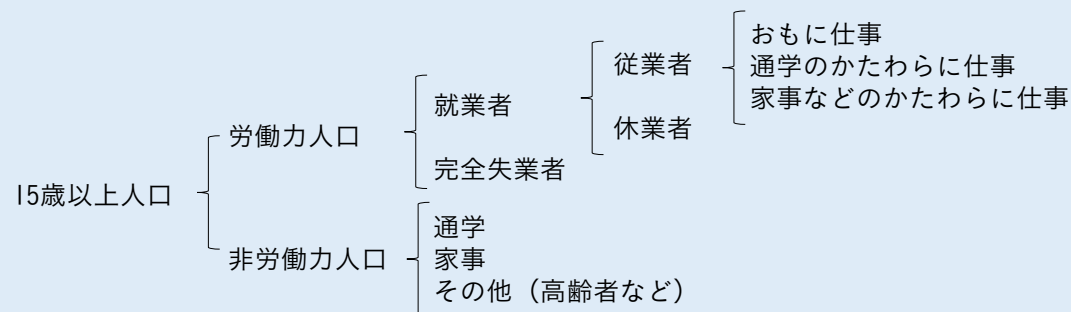


■「電通総研コンパス」第4回 調査概要

調査時期	2020年10月10日～12日	調査方法	インターネット調査
対象地域	全国	回収数	3,000人
対象者	18歳～69歳男女就業者 (※総務省「労働力調査」の「就業状態」区分に準じて、 パート・アルバイト含む、専業主婦・学生・無職・その他は除く)	調査会社	電通マクロミルインサイト

割付 ※総務省「労働力調査（2019年（平均））」に準じて設定

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	計（人）
計	526	585	773	655	461	3,000
男性	275	329	424	360	270	1,658
女性	251	256	349	295	191	1,342



※総務省「労働力調査」における「就業状態」区分
(2018年5月11日最新の改定)

■本レポートで参照した調査

「電通総研コンパス」第3回調査（「いつもと違う8月」における人の意識・行動）

調査時期	2020年8月21日・22日	調査方法	インターネット調査
対象地域	北海道・東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・ 愛知県・大阪府・福岡県	回収数	4,320人
対象者	18歳～79歳男女 ※学生を除く	調査会社	電通マクロミルインサイト

資料：主要労働統計にみる日本の状況

総務省「労働力調査」2020年10月2日公表資料のポイント

1. 就業者数、雇用者数

就業者数は6676万人。前年同月に比べ75万人の減少。5か月連続の減少
 雇用者数は5946万人。前年同月に比べ79万人の減少。5か月連続の減少

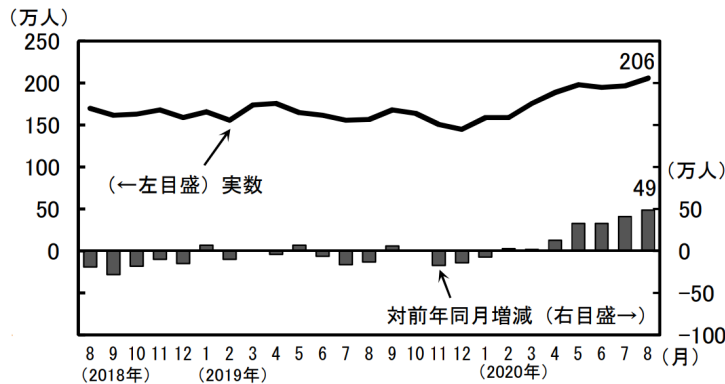
2. 完全失業者数

完全失業者数は206万人。前年同月に比べ49万人の増加。7か月連続の増加

3. 完全失業率

完全失業率（季節調整値）は3.0%。前月に比べ0.1ポイント上昇

■完全失業者数の推移（男女計）



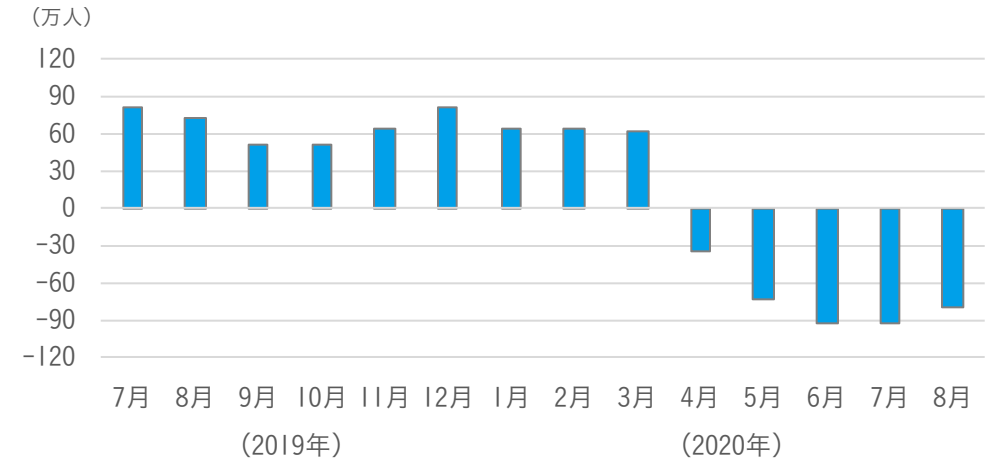
資料出所：総務省「労働力調査」
 (2020年10月2日更新)

■完全失業率の推移

	年平均			月次（季節調整値）			
	2017年	2018年	2019年	2020年5月	6月	7月	8月
完全失業率	2.8%	2.4%	2.4%	2.9%	2.8%	2.9%	3.0%

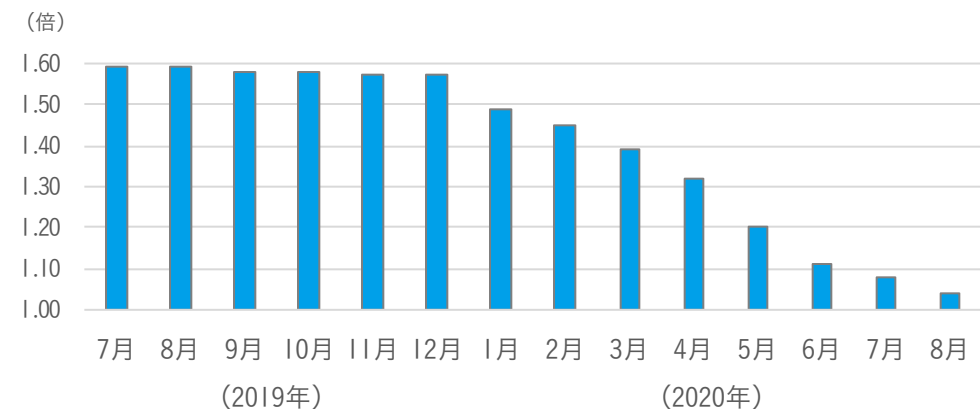
資料出所：総務省「労働力調査」(2020年10月2日更新)

■雇用者数前年同月差の推移



資料出所：総務省「労働力調査」(2020年10月2日更新)

■有効求人倍率の推移（季節調整値）



資料出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」(2020年10月2日更新)